



西野まさひと

活動報告 NO.36



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

[ホームページもみてね!] <http://www.nishino1.com/>

西野まさひと友の会では、平成26年6月議会での西野正人議員の一般質問の内容を中心に取材をし、ご報告します。



子供を守るのは社会の責任!

P2・3 一般質問 P4 熱中症対策・ゲリラ豪雨対策

楽しみな夏 注意の夏 知的護身術を身に付けよう

子供達を守る知的護身術

小・中学校は夏休みとなり、子供たちは盆踊りや夏祭りに参加し、笑顔がはじけています。しかし、夏休みは気が緩み思わぬ犯罪に巻き込まれる可能性が増大します。子供たちを犯罪から守るのは大人の責務であり社会の責任ではないでしょうか。日野市におきましても子ども見守り隊等子供たちを守る施策が展開されていますが、大事な事は自分の身は自分で守ると言う事を子供たちに認識させて「夜は一人で出歩かない」また「危険な繁華街には行かない」と言った「知的護身術」を実行する事だと思います。

薬物乱用防止教育に全力!

さて、私は青少年健全育成において薬物乱用防止に取り組んでいます。薬物乱用は低年齢化していることは皆様ご存知かと思いますが、6月議会においては、過去にも質問しましたが①小中学校での取り組みについて②保護者への協力依頼について③薬物乱用防止キャンペーンの取り組みについて質問をしました(一般質問次ページ参照)。また、脱法ハーブについても意見を言わせて頂きましたが、まさかその後、脱法ハーブ吸引による悲惨な事件が続々と起るとは想像もしていませんでした。何にも関係もない人が事故に巻き込まれ死に至ると言ったことは許すわけには行きません。そして、まさかのまさか元県会議員が脱法ハーブ吸引により事件を起こし逮捕されると言う事も起きています。脱法ハーブと言えば聞こえはいいですが実は脱法ドラッグとも言えるのではないのでしょうか。その様な状況で、国は「危険ドラッグ」と呼び名を改めました。これだけでは充分とは言えません。今後、早急に総括的な法整備が望まれます。

ゲリラ豪雨にもご注意を

地球温暖化のせいかどうかは分かりませんが、各地にて集中豪雨・ゲリラ豪雨が発生しています。大型台風の襲来もあるかと思えます。十分な備えと対応をお願いします。ここでも「自分の身は自分で守る」と言う事を念頭に置いて頂きたいと思えます。

日野市議会議員 西野正人

質問 2-1 薬物乱用防止について問う

薬物乱用防止について

先日、有名歌手が、覚せい剤取締法違反で逮捕されました。まさに、時代のシーンを音楽にて築いてきた歌手であり残念です。

薬物乱用の問題については、これまでも一般質問でも取り上げ、私自身も啓蒙活動の一端に携わってまいりました。この機会に再度質問をいたしました。

まず、薬物乱用に対する日野市の認識を質問しました。

健康福祉部長答弁

- 近年の薬物犯罪は、覚せい剤事犯や大麻事犯の検挙数が高水準で推移し、検挙される年代も20歳代までの若年層が3割以上を占めるなど、青少年にも薬物乱用が拡大している。さらに「合法ハーブ」などと称して流通する「違法ドラッグ」の乱用が急速に拡大するなど、極めて憂慮すべき状況にある。
- これらの防止にむけ、新たな薬物に対する正しい知識の普及や啓蒙の強化が喫緊の課題である。
- 薬物乱用に関して本人や家族からの相談があった場合に、保健所や多摩総合精神保健センター等の相談窓口につなげるなど、関係機関の連携構築が必要である。

先程の答弁で、検挙される年代は20歳代までの若年層が3割以上を占めるとのことですが、青少年の薬物乱用は興味本位での使用が多いかと思えます。これを防ぐためには、薬物の恐ろしさの徹底教育、薬物とは知らずに騙されて使用させられてしまうケースなど実際の事例を参照に予防策の教育が必要で

そのためには、小・中学校の授業で取り組むことが効果的です。現在の市内公立小中学校での取り組みについて質問しました。

教育部参事答弁

- 市内の全ての小・中学校では、薬物乱用防止教室を実施し、薬物への理解を深め、薬物乱用根絶に向けた継続的な取り組みをしている。体育、保健体育の授業や総合的な学習の時間、特別活動の時間の中で、発達段階に応じた指導を行なっている。
- 講師には、警察、薬剤師、保健所、大学教員、日野ライオンズクラブ、日野ロータリークラブの方々をお呼びしている。薬物の知識、薬物依存の症状、映像やパネルを使用した薬物の恐ろしさについての話、実際の薬物乱用の事例を通し、シンナーを使用した後の脳の状態や麻薬の恐ろしさなど、発達段階に応じた多様な内容となっている。

学校教育には、保護者の協力が必要です。しかし、保護者の方々に薬物の恐ろしさが理解されておらず、うちの子には無関係と考える方もいらっしゃる。いづれどこで誘惑されるか分からない身近な問題としてとらえる必要があります。保護者への薬物乱用防止への協力をお願いや、周知・啓蒙についての状況を質問しました。

教育部参事答弁

- 薬物乱用防止教室では、各学校から保護者へ案内を配布し、参加を募っている。また、保護者会等の機会を捉えて、保護者の啓蒙に努めている。
- 講演会の後、意見交換会、協議会を実施し、講師の方と保護者・教員が連携して薬物乱用防止に向けて取り組んで行くことを確認している学校もある。

薬物乱用は、反社会的行為として捉え、人任せでなく市・教育委員会・行政・市民が一体となって取り組むべきです。厚生労働省や東京都がキャンペーンを展開している期間も、市として積極的に参加して頂きたいと考えますが、所見を伺いました。

教育部参事答弁

- 薬物乱用防止の取り組みは東京都が設置した「東京都薬物乱用防止推進日野地区協議会」が中心となっておこなっており、日野市も補助金等の支援をしている。
- 協議会では例年、産業まつり、手をつなごうこどもまつり等のイベントで薬物見本やパネルの展示、リーフレットの配布等を行なっている。また、市内中学校に啓発ポスターや標語の作成を依頼し、優秀者には表彰を行なっている。
- また、毎年全国規模で展開されている「ダメ。ゼッタイ。」普及運動や麻薬覚醒剤乱用防止運動のキャンペーン実施の際にポスター掲示、リーフレット配布等の普及活動を行っている。
- 今後は、協議会の活動を支援するとともに、関係機関と連携して取り組む。



薬物乱用防止に對しては、国の更なる取り組みが待たれるところですが、私達日野市では、小学生・中学生に對する啓蒙活動を地道に積重ね、子供達とご家庭、そして地域の皆様に、正しい認識と自己防衛をしていただくことが一番の近道と考えます。今後、この問題にしっかりと取り組んで頂きたいと思



質問
2-2

「新選組まつり」について問う

新選組まつりの評価と今後の取組



大坪市長も佐藤彦五郎に扮して参加

今回の「ひの新選組まつり」は、天候に恵まれ、甲州街道でのパレードやイベントは盛大でありました。まちおこし連絡協議会・実行委員会・市職員の皆様の努力は言うまでもありませんが、諸力融合での街づくりを目指す大坪市政にとつて、「本気になれば日野市民はできる」ということが実感できた今回のまつりであったかと思えます。今回のまつりについて、日野市としての評価と課題について問います。また、今後の課題や取組、当日出店した焼きカレーパンの状況もたずねました。

まちづくり部参事答弁

- 来場者数は、5月10日の高幡会場が8千人、11日の日野会場が2万5千人、高幡会場が1万人で、合計4万3千人であり、昨年比6千人増であった。とりわけ、昨年から甲州街道を全面通行止めにした日野宿メイン会場は、5千人の増で、これまでにない賑わいとなった。
- 日野宿周辺の事業者の皆さんに、ひと月半前から「新選組ふるさと日野」の半纏を着用し、PRにご協力頂いた。まつり終了後、近隣商店の方々から、「売上が伸びた。活気があった。半纏の着用で、体感が持てた。来年は商品をもっと工夫したい。」との声を頂いた。江戸時代の甲州街道再現を目指し、大手門やお休み処を設置し、籠屋が行き交い、JAの方が農民に扮装し大八車に日野産の野菜をPRした。また、地元自治会や実践女子大学の皆さん、国際交流会から外国人の方々も、代官役人・茶屋娘の扮装で参加した。

まちづくり部参事答弁

- 今回のまつりでは日野わーく・わーくが作成した「焼きカレーパン」がニッポン全国ご当地おやつランキングで準グランプリを得たことをきっかけに、6店舗のパン屋さんが焼きカレーパンを出店した。各店舗のカレーパンを紹介したマップを作成してPRし、2時間足らずで1200個を完売した。
- 課題としては、日野宿メイン会場における出店ブースの確保がある。合わせて、来場者数の増加にあわせ、誘導と見やすい観覧方法の工夫が必要だ。
- 新選組まつりの盛況も、まだまだ日野宿周辺の賑わいの創出までには至っていない。パレードの充実、イベントの企画、財源確保の工夫など、知恵を出し合う必要がある。これからもシタイセールを進めていく。

質問
2-3

認知症対策について問う

認知症患者の現況と市の取組

認知症について色々な研究がなされ、薬による治療法や認知症予防の体操など対策がなされ始めています。認知症の患者さんを抱えるご家族は、介護などで大変な毎日を過ごしているかと思えます。なかには、介護疲れからの虐待や傷害事件にまで発展してしまうケースもあります。また、徘徊や行方不明などの対策も急務です。日野市の認知症患者の現状、患者数や徘徊件数の状況、認知症対策の状況についてたずねました。



商店街の売上も伸びたとの声を聞き、やっとここまで来たとの思いがあります。また、今回は職員の本気度がちがったと感じました。今後、旧日野宿等、街並景観の問題や補助金獲得も含めて、積極的に国や東京都に働きかけて頂きたいと思えます。

健康福祉部長答弁

- 平成25年時点で、日野市の介護保険の要介護認定者7344人のうち、68%にあたる4971人が何らかの認知症症状がある。
- 日野市の認知症高齢者の徘徊の状況は、平成25年度では、41件発生しており、36件は24時間以内に発見されており、行方不明は無い。
- 認知症の早期の段階では、本人や家族が認知症であることを受け入れられず、治療が遅れ、進行してしまうケースが少なくない。症状が進行すると徘徊や妄想が顕著になり、「ご家族への対応が限界となり市や地域包括支援センターへの相談となるため対応に苦慮している。
- 市では、市民向けの取組では、市民啓発講座として映画上映会や講演会を開催。また、認知症サポーター養成講座を開催し理解を深めて頂いている。認知症家族介護者向けの取組では、家族同士の交流や情報交換、介護技術の習得を目的とした講座やイベント、家族交流会を開催している。
- 市では、「SOSネットワーク」、「メール配信サービス」、「徘徊探索システム」、「防災無線」などを活用し、徘徊高齢者の早期発見に努めている。
- 認知症高齢者への介護サービスは、現在、市内に認知症通所介護が4施設、小規模多機能型居宅介護6施設、認知症高齢者グループホーム7施設(今年8月に1カ所開設予定で8カ所になる予定)である。



今回、市では認知症になった後の対応、つまり高齢福祉課の答弁が主でしたが、認知症にならない取組も重要です。食生活の改善や生活習慣、健康体操など、すでに啓発に尽力し成果をあげている自治体もあります。日野市でも、ヘルスケア・ウェルネス政策の環として、認知症予防の取組に二層力を入れて頂きたいと思えます。

今年の夏は冷夏予報から一転猛暑！熱中症対策を！

総務省消防庁の発表では、今年5月19日から7月20日までの熱中症による救急搬送は1万2604に上り、死者は17人となりました。梅雨明けが始まった14～20日の1週間では、3179人で前週から3割増となっています。特に搬送者の約半数の方が65歳以上の高齢者です。高齢者は汗をかきにくく、暑さを感じにくくなっており、自覚がなくても熱中症になる危険があります。温度計や湿度計を居室に設置するなど対策することが大切です。



狛江市の熱中症予防の取り組みを紹介！

狛江市では、住民基本台帳上で75歳以上の一人暮らしまたは75歳以上のみの世帯を対象に、熱中症予防対策として、液晶温度計付きで、熱中症の危険度をチェックできるシートを配布しています。また、暑い室内にこもらないように、「熱中症予防スポット」として、冷房の効いた市の公共施設の利用を呼びかけています。日野市でも積極的な熱中症予防への取り組みを期待します。



熱中症予防のポイント

- 部屋の温度をこまめにチェック！（温度計をぜひ設置しましょう）
- 室温が28℃を超えないように、冷房器具を使用しましょう。
- のどが渇いたと感じたら必ず水分補給をしましょう。
- のどが渇かなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- 外出の際は涼しい服装で、帽子や日傘なども忘れずに！
- 無理せず、適度に休憩をとりましょう。
- 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう！

- 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない時はためらわずに救急車を呼びましょう！
- 意識がない（おかしい）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼びましょう！



ゲリラ豪雨に要注意！

近年見られる局所的な豪雨を「ゲリラ豪雨」と称していますが、日野市でもその被害が起る可能性があります。予想外の突発的な豪雨で、大量の雨が一気に流れ込むため、数十分の降雨でも大きな被害を起こす危険があります。

また、注意報や警報の発表が間に合わない場合もあり、離れた場所でも被害を受ける場合があります。

ゲリラ豪雨発生時にどのような危険がおこりうるか、事前にチェックしておき危険を回避することが大切です。



ゲリラ豪雨の発生源は積乱雲 下記の事例は積乱雲の近づくサイン

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す
- 大粒の雨やひょうが降りだす

| 場所 | 危険性 |
|---------------------------------------|--|
| 地下施設(地下街など) 住居(地下室、地下ガレージ) | 河川や用水からはん濫した水、側溝から道路に溢れた雨水が流入する 河川や側溝から溢れた水が流入し、場合によっては水没する |
| 道路(歩行者・自転車) 道路(自動車) アンダーパス(自動車) | 路面が冠水し、道路と側溝の境目が分かり難くなり転落する 許容量を超えた雨量でマンホールの蓋が空き、転落する 冠水部分に乗り入れ、走行不能となり、場合によっては水没する 冠水に気づかず侵入し、水没する |
| 川原、中洲 | 急増水で流される、中洲に取り残される |

